

治療を終えた時は「ゴール」ではなく、新たな闘いの「スタート」

虫歯治療について



お答え
ROSE CLINIC
新井寿欧 院長

■プロフィール 鶴見大学歯学部大学院研究科博士課程修了(歯周病学専攻)。平成23年、東桜町にROSE CLINIC(ローズクリニック)を開設。鶴見大学歯学部歯周病学講座非常勤講師。歯学博士<メモ> ☎084(924)0100 ROSE CLINIC(東桜町1-1、アイネスフクヤマ2階) <http://www.roseclinic-fukuyama.com/>

「ローズクリニック」の新井寿欧(としお)院長に、虫歯の治療について聞きました。

Q 虫歯は、どうしてできるのですか？
A ミュータンス菌(虫歯菌)は、さまざまなたんぱく質からグルカンというネバネバした物質を産生し、歯の表面に強固に付

着します。口の中に常にいる細菌がこれにくっつき、歯ブラシの行き届かない所で増殖していき、目に見えるようになりま

す。これが「歯垢」です。長くくっついている歯垢をそのままにしておくと、歯の表面(エナメル質表面)に強固な歯垢が形成されます。この菌は乳酸発酵を行います。すると歯垢の中に乳酸が蓄積され、これがエナメル質を腐蝕(脱灰)し、虫歯が始まるのです。

歯の表面のエナメル質までは痛みを感じませんが、細菌が象牙質(歯の内部)にまで進行すると痛みが発生します。

Q 虫歯になってしまったら、歯科医院で治療を受けますが…
A 多くの人は、歯科医院に通うのは虫歯になった時点で、患部を削って詰め物やかぶせ物をし、それで治療が終わったと安心しがちです。でも歯の健康を保つには、そこは「ゴール」ではなく、「新たな闘いのスタート地点」です。

Q 「スタート地点」とは、どういうことですか？
A 一度虫歯にしてしまえば、虫歯の治療を行な

った所は、無垢(むく)な歯の表面よりも虫歯になりやすいといえます。虫歯の治療跡は脆弱(せいじゃく)で、詰め物と自分の歯の隙間から虫歯菌が侵入しやすく、治療跡こそ虫歯が再発しやすいポイントなのです。

Q 「スタート地点」とは、どういうことですか？
A 一度虫歯にしてしまえば、虫歯の治療を行な

った所は、無垢(むく)な歯の表面よりも虫歯になりやすいといえます。虫歯の治療跡は脆弱(せいじゃく)で、詰め物と自分の歯の隙間から虫歯菌が侵入しやすく、治療跡こそ虫歯が再発しやすいポイントなのです。

Q では、虫歯の治療後は、どんなことに気を付けなくてはいけないのでしょうか？
A 普段のケアがとてきまらなかったのに、虫歯ができてしまったのに、歯磨きを改善しないまま、結果だ削って詰めても、結果は目に見えています。しかも、「次に虫歯になるのは治した歯」です。治療後は、特に念入りに歯ブラシでケアすることが必要です。

私たちが重視するのは、「虫歯になった生活環境の見直し」です。問

必要です。